

# モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)の普及に向けた手引書の作成

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 岡本英晃  
株式会社地域未来研究所 田中雅宣、貞松純子

## 背景

平成25年度に実施したアンケートにおいて。。

### 自治体

これまで取組んだことのない自治体の7割以上が「MM教育に関心がある」と回答

しかし、取組まない理由として。。

人手不足・・・40.7%

取組み方法や進め方がわからない・・・32.1%

どのようなことを教えたらいいかわからない・・・28.4%

学習効果がわからない・・・23.5%

予算が確保できない・・・16.0%

教科学習との関連付け方法や具体的な授業内容などといった詳細な情報の不足

### 学校

実施校のすべてで、「学習効果はある」、「今後もMM教育は必要」と回答

しかし、課題点として。。

教科学習や単元に結びつかない・・・14.8%

参考となる資料が少ない・・・14.8%

行政や交通事業者との調整が大変・・・11.1%

26年度に、教員の目線で参考となる手引書を作成

※エコモ財団がこれまでに支援した札幌市、京都府、川西市の3自治体の事例を掲載。

## 27年度実施内容

### 1. 事例の追加

金沢市、仙台市、富山市の3自治体の事例を追加

### 2. 学校教育とMM教育との親和性の再整理

教員に参考としてもらえるように、学習指導要領及び、エコモ財団の支援自治体、支援校をはじめとする事例を精査し、実施可能な教科・学年を整理

### 3. 教員に対するヒアリング

富山市の教材作成検討会に参加するとともに、教員が参考としやすい手引書の作り方など、ヒアリングを実施

MM教育との関連付けが考えられる授業

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
社会			◎	○	◎	◎
理科			△	○	△	◎
生活	◎	◎				
家庭					○	○
道徳	○	○	○	○	○	○
総合的な学習の時間			◎	◎	◎	◎
特別活動	○	○		○	○	○

※この他に、算数の授業で、バス利用者数やCO<sub>2</sub>排出量などの指標を用いてグラフの見方や計算の技能向上に資する学習や、道徳の授業で、(公共の場などで)回りの人を思いやることが出来る人間育成に資する学習も考えられる

## 成果：交通環境学習の手引書

### ●下記3自治体の事例を追加(26年度作成分も合わせて、合計38事例を掲載)

- ①3年生の自転車安全教室を活用して市内全小学校を対象とした教材と、発展版として様々な教材を組み合わせ学習する金沢市。
- ②小学校6年間を低学年、中学年、高学年の3区分にわけ教材を作成している仙台市。
- ③教育委員会と連携し、社会科の副読本に公共交通路線網を掲載し、またその公共交通路線網を活用したプログラムを作成した富山市。

### ●学習の目標や対象学年、学習構成などを統一フォーマットで整理

### ●学習指導計画があるものについては掲載することとし、教員が参考としやすいように編集

事例番号	実施した学年						単元・プログラム名	実施した科目 ※( )でも対応可能	実施地域	指導計画
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
1	○						☆でんしゃのトリー	道徳	札幌市	○
2	○	○					☆デンボンバスでつながるわたしたち	生活、道徳	川西市	○
3	○						スノーランド	生活	札幌市	○
4	○						科学かんに出かけよう	生活科(道徳)	仙台市	○
5	○						みんなで行こうよつおあうよ	生活科(道徳)	仙台市	○
6	○	○	○	○			☆私たちの川西市(バス編)	生活、総合、道徳	川西市	○
7							もっと知りたいみんなのまち	社会	札幌市	○
8							わたしたちの市のようす	社会	札幌市	○
9							昔の道具とくら(1)	社会	札幌市	○
10							昔の道具とくら(2)	社会	札幌市	○
11							☆地球温暖化と交通	総合	仙台市	○
12							市の様子「富山市のいろいろな乗り物」	社会	富山市	○
13							☆私たちの川西市(鉄道編)	社会、総合	川西市	○
14							☆買い物から社会を考える	社会、総合	川西市	○
15							☆バス車両の工夫見学	社会、総合	京都府	○
16							☆交通すごろく	生活、総合、道徳	川西市	○
27							くらしを支える情報	社会	札幌市	○
28							環境について考えよう	総合	札幌市	○
29							環境 HOTCOM	総合	札幌市	○
30							生活環境を守る	社会	札幌市	○
31							パネル討論会しよう	国語	仙台市	○
32							☆環境やさしい交通機関の使い方を考えよう!	総合	富山市	○
33							☆物流車両の工夫見学	社会、総合	京都府	○
34							暮らしの中の政治(1)	社会	札幌市	○
35							暮らしの中の政治(2)	社会	札幌市	○

実践された学年を明記

短時間でも実施可能なもの☆で明示

**6年生 実践事例 34**

「暮らしの中の政治」(1)

**指導目標**

- ◎日常生活における政治の働きと役割に関心をもち、意欲的に調べている。
- ◎政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現している。
- ◎国民生活と地方公共団体や国の政治とのかわりについて調査し、基礎的資料を活用して調べている。
- ◎国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。

**公共交通を教材とする利点**

市がバス事業の維持に税金を使っている意味を考える活動を通じて、「バス路線を守ることが市民の暮らしを守ることにつながる」ことに気づき、市民一人ひとりの暮らしに税金が大切な役割を果たしていることがわかる。

**対象学年** 6年生

**対応教科** 社会科

**標準校時** 5コマ

**学習構成**

- 身近な制度を知る
  - 教科書に載っている世田谷区の新BOP制度について考え、子どもの遊び、交流、生活が一層豊かに広がることを願って、制度が始まったことを知る。
- 新BOPはどのようにして実現したのだろう
  - 新BOP制度を通して、住民の願いから計画案や予算案ができ、議会で審議され実現する仕組みや安心して暮らせる社会のあり方を学ぶ。
  - 政治への住民の積極的な参加が大切であることを理解する。
- 住民と政治のつながり
  - 議会で議員たちが住民の生活にかかわる事を話し合い、必要性を判断して決議していることを知る。
- 税金のはたらきと私たちのくらし
  - 税金がどのように納められ、使われているかを知る。
  - 札幌市が赤字のバス路線に税金を投入している意味や、身の回りで使われている税金について考えることで、誰もが税金の恩恵を受けていることを学ぶ。

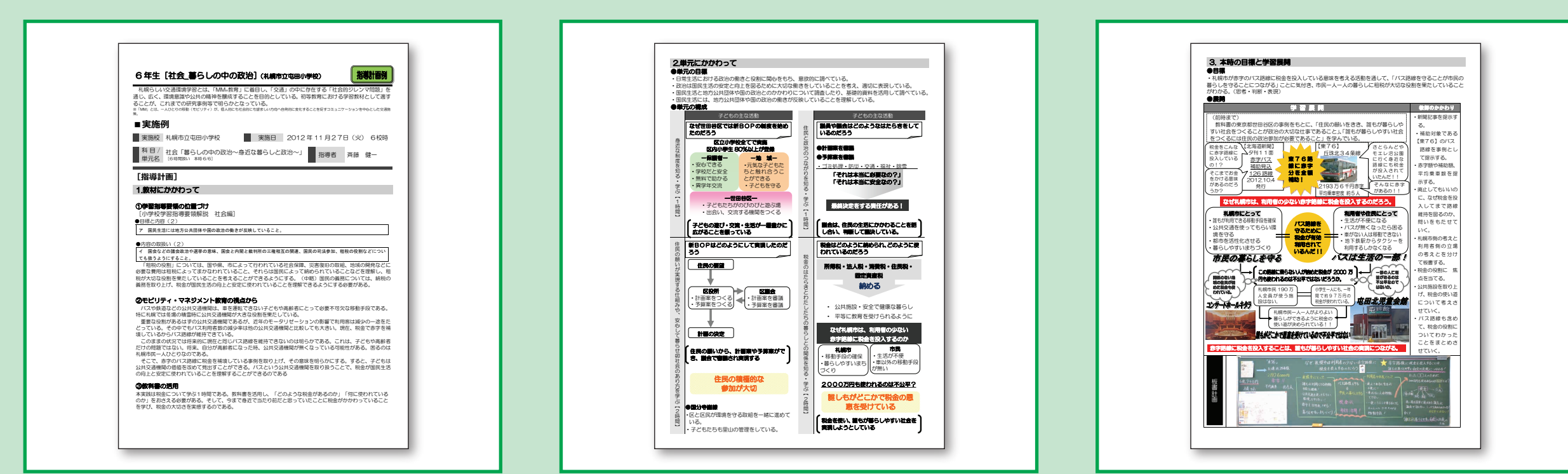
※新BOP制度とは、親の就労状況にかかわらず、小学校のすべての児童を対象とした全児童対象事業と、放課後児童健全育成事業を一体化した世田谷区の事業。「BOP」は、「Base Of Playing: 遊びの基地」の略

内容を教員がわかりやすくなるように、学習構成の他、学習指導要領に合わせた指導目標や教材とする利点を明記

概要版パンフの配布やセミナー開催などを通じて、手引書だけでなくMM教育自体を普及



### 教員のカリキュラム検討の詳細な資料とするため指導計画書を掲載



手引書は、モビリティ・マネジメント教育ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/tebiki/index.html>) に掲載しています。